

## **前立腺癌に対する凍結療法後のMRIに関する研究へのご協力をお願い**

今回、京都府立医科大学は、「局所性前立腺癌に対する局所凍結療法後のMRI所見についての研究」を実施いたします。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### **研究の目的**

前立腺の一部分に癌が留まり、他の臓器に転移のない前立腺癌に対して、癌の部分のみを凍らせて治療する局所凍結療法の有効性が近年報告されています。この治療を行った後には、治療効果（治療範囲が適切かどうか、治療対象の癌が死んでいるか）の判定や、治療部位に癌の再発がないかを確認するためにMRIを繰り返し撮影する必要があります。局所凍結療法後にMRI画像がどのように変化するかについてはこれまでに検討されておらず、この変化を知ることが上述の治療効果の判定や、癌の再発をより早く見つけるのに役立つ可能性があります。本研究では、前立腺癌に対する局所凍結療法後のMRIでの画像所見について検討します。

### **研究の方法**

#### **・対象となる方について**

2017年1月1日から2022年12月31日の間に、京都府立医科大学附属病院で前立腺癌に対する局所凍結療法を受けられた方が対象となります。

#### **・研究期間**

医学倫理審査委員会承認後から2024年12月31日

#### **・方法**

局所凍結療法を受けられた方の診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。取得した情報から、凍結療法後に前立腺MRIの画像がどのように変化していくかを検討します。

#### **・研究に用いる情報について**

治療時の年齢、血液検査データ、前立腺生検による前立腺病理組織データ、手術記録、治療前後に撮影された前立腺MRI画像 等

#### **・個人情報の取り扱いについて**

患者さんのMRI画像や病理組織、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 放射線診断治療教室 高畑 暁子）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### ・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報や画像は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学放射線科において助教 高畑暁子の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

また、将来新たな研究を行う際に、今回保存した情報を利用させていただく場合があります。その際には改めてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し、承認を得て利用します。

### 研究組織

研究責任者：

京都府立医科大学 放射線医学教室 助教 高畑 暁子

研究担当者：

京都府立医科大学 放射線医学教室 客員講師 山田 香織  
研修員 徳田 文太  
泌尿器科学教室 教授 浮村 理  
講師 藤原 敦子  
客員講師 岩田 健  
京都府立医科大学附属北部医療センター 放射線科 講師 佐藤 修

研究統括者：

京都府立医科大学 放射線医学教室 教授 山田 恵

### お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年10月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 放射線診断治療学教室  
研修員 徳田 文太 電話：075-251-5620（放射線科医局）